2021年度
町と僕らの
未来開拓プロジェクト
参加高校生向け調査結果

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

0　調査概要

【調査対象】

●高校全校生徒　118人から回答（全校生徒 121人）＝回答率 97.5%
●いわてまちと僕らの未来開拓プロジェクト（中高生向けキャリア教育事業、以下いわぷろ）参加者　14名

【調査時期】
●全校生徒向けアンケート　7月
●いわぷろ参加者向けアンケート　参加前：7月　参加後：1月

【調査項目】

「シビックプライド」「自己肯定感」「自己決定力」「いわぷろオリジナル項目」の4つ
の項目でアンケート調査を実施

●「シビックプライド」に関しては、以下を参考に項目を作成した。
『シビックプライドを醸成する都市環境』
東京理科大学 理工学部 建築学科 教授　伊藤香織
『令和2年度　若者人材育成事業参加者対象アンケート』

●「自己肯定感」に関しては、以下を参考に作成した。
『日本の子供たちの自己肯定感が低い現状について』（文部科学省提出資料）
※第38回教育再生実行会議（平成28年10月28日）の参考資料2

●「自己決定力」に関しては、以下を参考に独自で作成した。
『キャリア教育推進の手引』文部科学省
『キャリアの心理学』 渡辺三枝子
『明日から使える！ キャリア教育～実践編～』厚生労働省

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

1．シビックプライドに関して

●**いわぷろ参加者**（**参加前**7月実施アンケートより）

＜「とてもそう思う」「そう思う」の平均点比較＞
＊＊「とてもそう思う」「そう思う」の割合の平均
＊逆転項目に関しては数字を反転して作成

・地域参画
⇨37.5%

・地域アイデンティ
⇨45.8%

・忠誠的愛郷心
⇨79.2%

・地域愛着
⇨84.3%

●**高校全体**（8月実施アンケートより）

＜「とてもそう思う」「そう思う」の平均点比較＞
＊「とてもそう思う」「そう思う」の割合の平均
＊逆転項目に関しては数字を反転して作成

・地域参画
⇨46.4%

・地域アイデンティ
⇨48.8%

・忠誠的愛郷心
⇨70.4%

・地域愛着
⇨63.1%

●**いわぷろ参加者**（**参加後**1月実施アンケートより）

＜「とてもそう思う」「そう思う」の平均点比較＞
＊＊「とてもそう思う」「そう思う」の割合の平均
＊逆転項目に関しては数字を反転して作成

・地域参画
⇨59.6%

・地域アイデンティ
⇨88.5%

・忠誠的愛郷心
⇨80.8%

・地域愛着
⇨91.4%

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

1.2　シビックプライドに関して

	いわぷろ参加前平均 ＊肯定的回答の割合	いわぷろ参加後平均 ＊肯定的回答の割合	高校全体平均 ＊肯定的回答の割合
地域参画	37.5%	59.6%	46.4%
地域アイデンティティ	45.8%	88.5%	48.8%
忠誠的愛郷心	79.2%	80.8%	70.4%
地域愛着	84.3%	91.4%	63.1%

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

1.3　シビックプライドに関して　考察

【考察】

・いわぷろ参加後に全ての項目の上昇が見られた。
・いわぷろ参加前の結果から、「地域参画」、「地域アイデンティティ」が高校全体よりも　”低く”、「忠誠的愛郷心」や「地域愛着」が”高い”、生徒がいわぷろに参加していた。
　このことから、地域への想いはあるが、地域参画に動くほどの自信がなかった子達だと推測される。

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

1.4　シビックプライドに関して（参考）

表1　シビックプライド尺度

地域参画	地域社会の一員としての責任を真剣に考えている
	自分のような人間が地域社会で重要な役割を果たすと思う
	地域社会を良い場所にするための自分なりの貢献ができていない*
	自分は地域社会に変化を起こすことができると思う
地域アイデンティティ	人生の大部分が地域に結びついている
	「（市）の人」という言葉は，自分がどういう人物かをよく説明する言葉である
	「（地区）の人」という言葉は，自分がどういう人物かをよく説明する言葉である
	（市）市民であることは自分にとって重要なことである
忠誠的愛郷心	この地域は，他のほとんどの地域より良い場所である
	地域を批判している人がいたら，地域を擁護する
	家族や友人に地域の産品や製品を使うよう勧める
	地域のスポーツチームを積極的に応援する（プロ，アマチュア，学校など）
地域愛着	地域は住みやすいと思う
	地域が好きだ
	地域の雰囲気や土地柄が気に入っている
	地域に自分の居場所はない*
	地域にずっと住み続けたい
	地域は大切だと思う
	地域にいつまでも変わってほしくないものがある
	地域になくなってしまうと悲しいものがある

* 逆転項目

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

2. 自己肯定感と自己決定力についての比較

	いわぷろ参加前平均 ＊肯定的回答の割合	いわぷろ参加後平均 ＊肯定的回答の割合	高校全体 ＊肯定的回答の割合
自己肯定感	43.9%	65.3%	47.5%

		いわぷろ参加前平均 ＊肯定的回答の割合	いわぷろ参加後平均 ＊肯定的回答の割合	高校全体 ＊肯定的回答の割合
自己決定力	自己理解	76.7%	93.8%	72%
	社会理解	80.6%	89.7%	63%
	課題解決能力	79.2%	94.2%	76%

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

2.1　自己肯定感　詳細

	いわぷろ参加前平均 ＊肯定的回答の割合	いわぷろ参加後平均 ＊肯定的回答の割合	高校全体平均 ＊肯定的回答の割合	全国平均 ＊肯定的回答の割合
私は人並みの能力がある	58.3%	76.9%	53%	55.7%
自分はダメな人間だと思うことがある ＊肯定的回答の割合へ逆転	25.0%	46.2%	26%	27.4%
私は自分自身に満足している	41.7%	61.5%	47%	45.8%
自分は役に立たないと強く感じる ＊肯定的回答の割合へ逆転	30.0%	61.5%	44%	52.8%
自分には良いところがあると思う	75.0%	76.9%	68%	69.3% ＊中学3年生のものと比較
今の自分が好きだ	33.3%	69.2%	47%	50.8%

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

2.2　自己肯定感　考察

【考察】

・「自分はダメな人間だと思うことがある」、「今の自分が好きだ」の項目は、いわぷろ参加前は、全国平均及び高校全体平均を下回っていたが、いわぷろ参加後に前者は約 20ポイント、後者は約35ポイント上昇している。いわぷろというプログラムが参加者の自己肯定感の向上に寄与していることがわかる。

・「自分は役に立たないと強く感じる」の項目も、いわぷろ参加前には、全国平均及び高校全体平均を下回っていたが、約30ポイント上昇していた。自己肯定感だけでなく自己効力感も上昇している可能性がある。

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

2.3　自己決定力（自己理解）

	いわぷろ参加前平均 ＊肯定的回答の割合	いわぷろ参加後平均 ＊肯定的回答の割合	高校全体平均 ＊肯定的回答の割合
自分は、何が得意なのかを知っている	75.0%	92.3%	73%
自分は、何をしているときの自分が充実しているか知っている	75.0%	100%	84%
自分は、自分のやりたいことの将来像を描くことができる	75.0%	92.3%	65%
自分は、将来の夢や目標がある	91.7%	92.3%	76%
自分がどのように生きたいのかを言葉にすることができる	66.7%	92.3%	64%

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

2.4　自己決定力（社会理解＆課題解決能力）

		いわぷろ参加前平均 ＊肯定的回答の割合	いわぷろ参加後平均 ＊肯定的回答の割合	高校全体平均 ＊肯定的回答の割合
社会理解	世の中にある色々な職業または大学の情報に触れるために、仕事または大学調べをする	75.0%	92.3%	60%
	自分の興味、関心をチェックし、自分に向いた職業・大学等の進路を探す	83.3%	92.3%	68%
	気になる職業に就くための一般的な道筋（大学進学など）、教育訓練情報等を確認する	83.3%	84.6%	61%
課題解決能力	自分が立てた目標・課題に対して自ら解決のために取り組むことができる	83.3%	92.3%	78%
	自分が決めた進路に対して自信を持って取り組むことができる	75.0%	100%	76%
	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	75.0%	100%	80%
	学校の課題などに加え、弱点を克服するための学習に取り組んだり、発展的な問題に取り組んだりしている	83.3%	84.6%	72%

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

2.5　自己決定力　考察

【考察】

（自己理解）
・全ての項目で、高校全体よりもいわぷろに参加した高校生の結果が上回った。
・特に、「自分は、自分のやりたいことの将来像を描くことができる」、「自分がどのように生きたいのかを言葉にすることができる」の項目は、いわぷろ参加後、高校全体平均よりも約 30ポイント近く高かった。本事業が中高生キャリア教育を促す上で、しっかりと将来のことや自分自身の生きたい生き方を言語化していたことが伺える。

（社会理解・課題解決能力）
・社会理解の項目は、いわぷろ参加後、高校全体の平均よりも約 20～30ポイント高い値となった。プログラム参加により、自身の進路（大学や職業など）について意識が向き、具体的な行動にも繋がっている可能性がある。
・「自分が立てた目標・課題に対して自ら解決のために取り組むことができる」、「自分が決めた進路に対して自信を持って取り組むことができる」という項目の上昇から、自身のキャリアについて自己決定していく力の向上が伺える。

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

３　今後も岩手町に住み続けたいと思いますか？

	いわぷろ参加前	いわぷろ参加後	高校生全体
住み続けたい	58.3%	61.5%	28%
どちらでもいい	41.7%	30.8%	53%
地域外に引っ越したい	0%	7.7%	19%

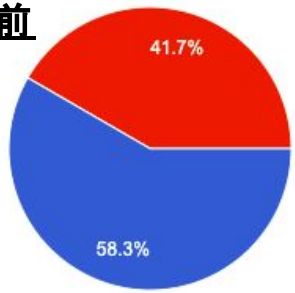
特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

3.1　今後も岩手町に住み続けたいと思いますか？

（4）.今後も岩手町に住み続けたいと思いますか（○は一つ）

12 件の回答

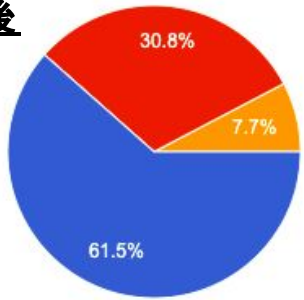
いわぷろ参加前



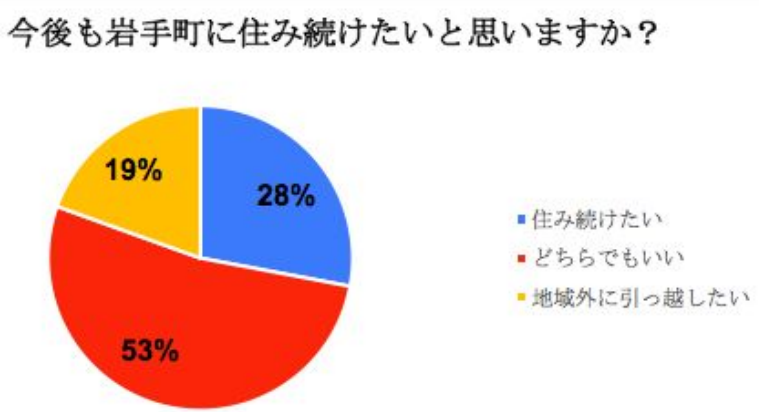
今後も岩手町に住み続けたいと思いますか

13 件の回答

いわぷろ参加後



高校全体



特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

3.2 今後も岩手町に住み続けたいと思いますか？　考察

【考察】

・今後も岩手町に「住み続けたい」と回答した人は、いわぷろ終了後、高校全体平均と比較すると2倍以上高い結果となった。元々住み続けたいと考える参加者だったこともあるが、そこからさらに値が上昇していることから、住み続けたいという想いがより強くなったことが伺える。

・「どちらでもいい」、の値は減少し、「地域外に引っ越したい」の項目が上昇しているが、これはキャリア教育事業であるいわぷろに参加し、より自身の将来が明確になったとも言える。
シビックプライドの値は上昇しているので、単に地域に嫌気が指して地域の外に出ようと思っているのではないと推察される。

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

４．あなたのやりたいことはなんですか？

【参加後アンケートより】

人を笑顔にする

人と関わりながら自分の好きなことをする

いろんな人が楽しく話せてる世界にしたい
人と人をつなげたい
そのために対話とか異文化理解、コミュニケーションについて学びたい。

沢山の人と話したい!

理学療法士として岩手町に貢献

図書に関わる仕事をしたい

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved

5. いわぷろの活動を通して、自分が学んだなと思うことを教えてください

【参加後アンケートより】

対話をすることで新しいつながりや興味、関心を得られること

コミュニケーション

色々な方々との話し合い、関わる、目標の進め方等

自分のやりたいことに対して積極的に動くことが大切なこと

対話をすることで新しい興味や関心が生まれたこと

自分の好きなテーマを広く広げて沢山、考えなどを出すこと

何かに積極的に参加することは大切だということ

大人のかたと交流したこと

自分に自信を持つこと

人との繋がりの大切さ

1人じゃできないこともサポートがあれば出来ること。楽しいを作るためにはたくさん準備や打ち合わせ、人との連携が必要なこと。自分を応援してくれる人がいること。助けてくれる人がいること。探求することは楽しいこと!

様々な地域の人周りの大人がしっかりと支えてくれる

自分の目標の持ち方

特定非営利活動法人SET/ Copyright© All Rights Reserved